

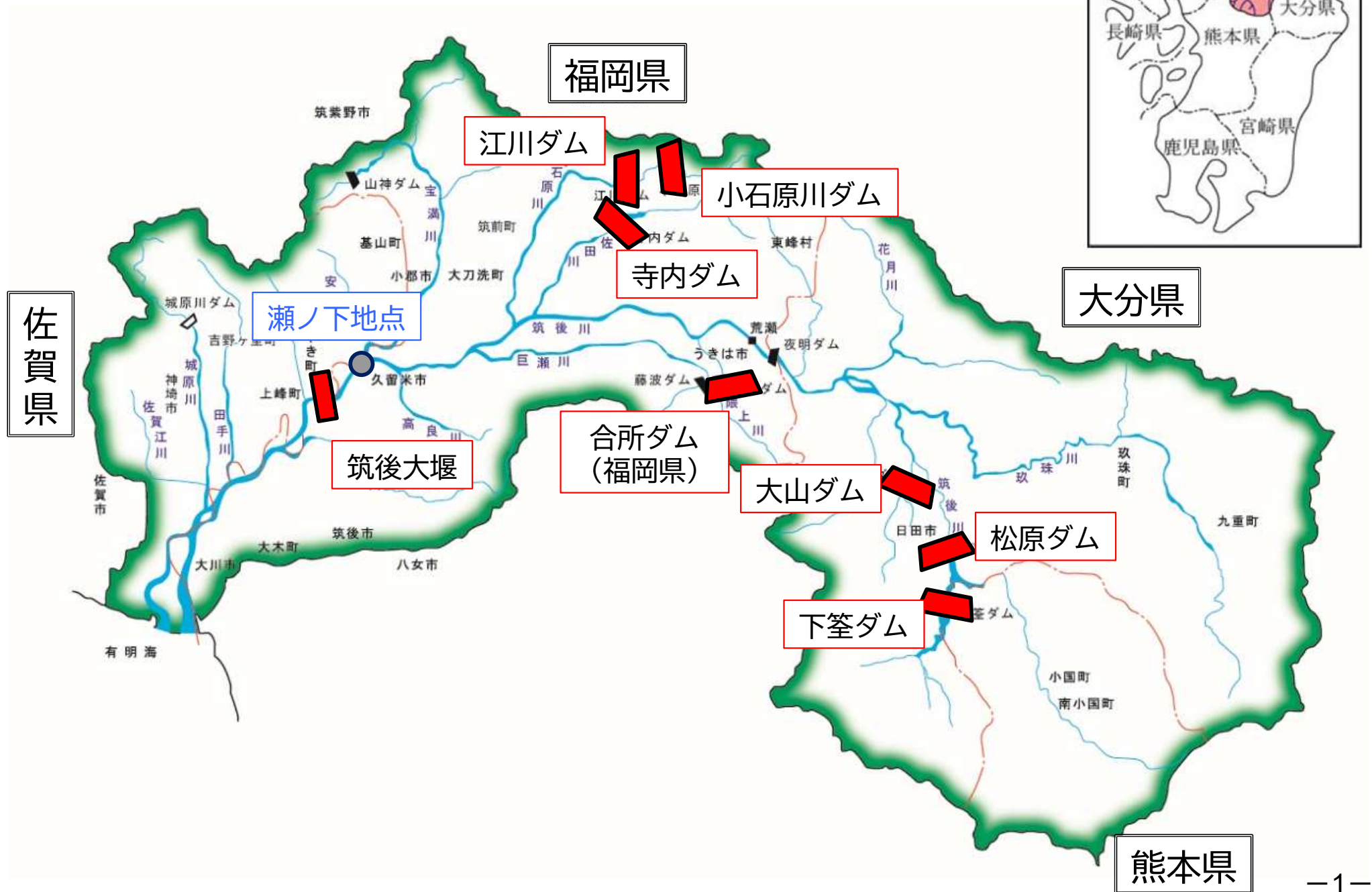
令和 7 年度第3回筑後川水系渇水調整連絡会 幹事会

筑後川の水状況について

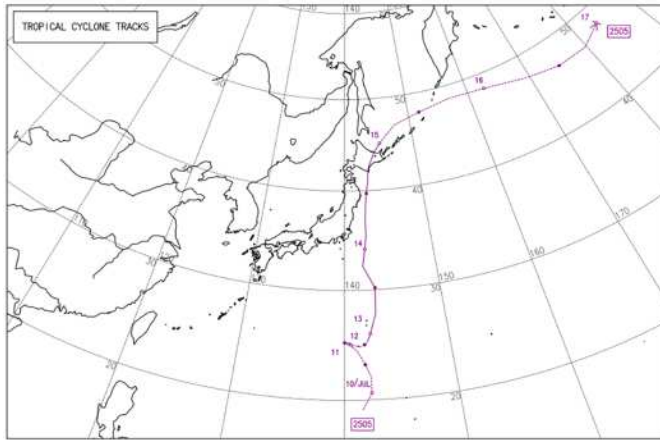
令和7年11月26日

筑後川水系渇水調整連絡会
事務局

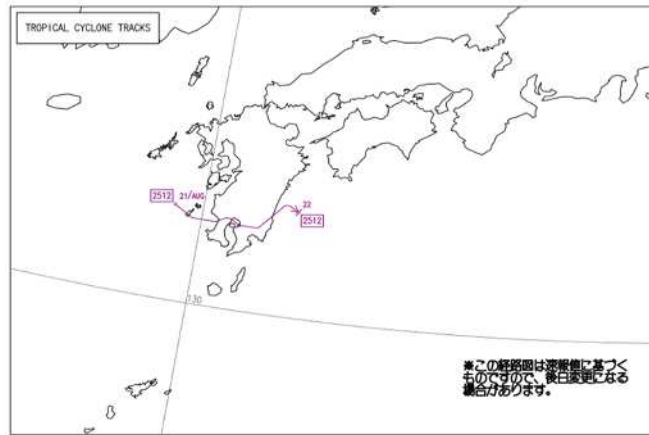
筑後川流域内施設位置図



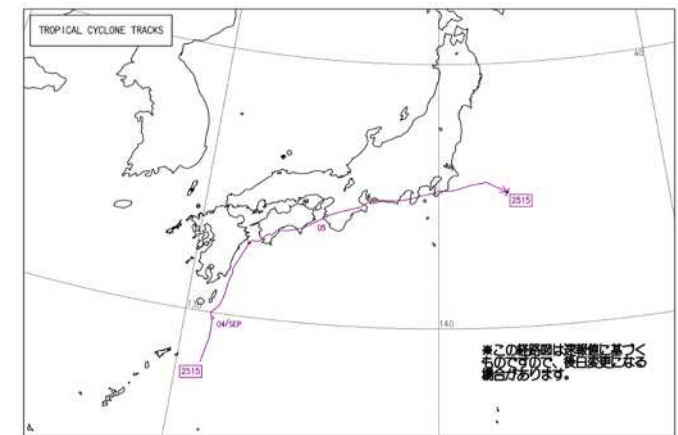
本年の台風の発生・接近の状況



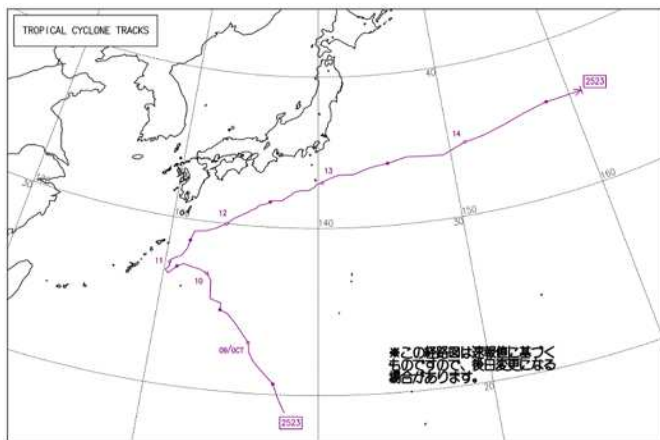
第5号上陸
7月10日～7月17日



第12号上陸
8月21日～22日



第15号上陸
9月4日～5日

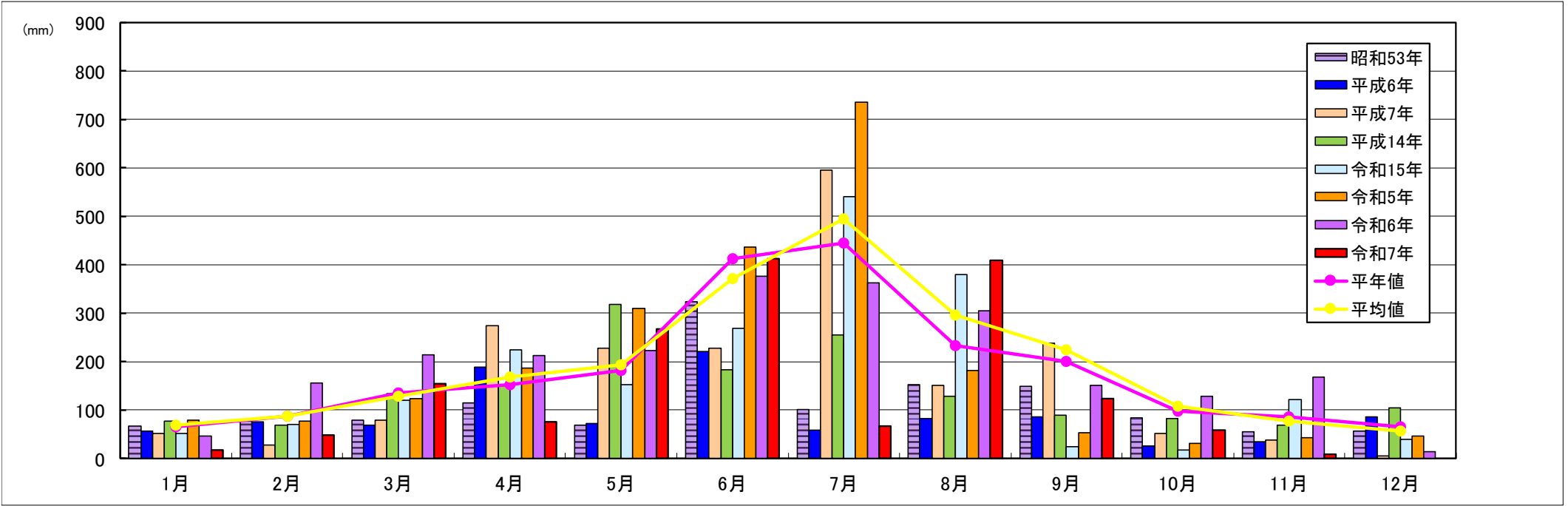


第23号接近
10月8日～13日

	R5	R7	平年
発生	17	26	25.1
接近 (本土)	4	7	5.8
上陸 (本土)	1	3	3.0

出展：気象庁HPをもとに作成（R7.11.14時点）
 ※平年値：1991年～2020年の30年間の平均値
 ※本土：北海道、本州、四国、九州

筑後川(瀬ノ下上流域)平均月別雨量図



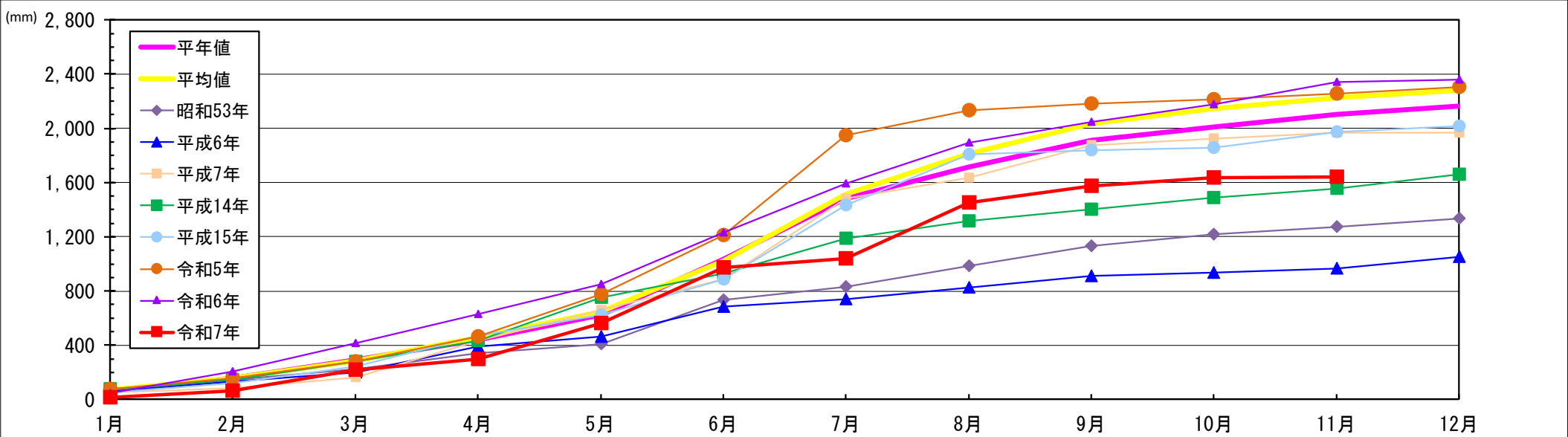
単位:ミリ													
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平年値	66.2	87.9	134.7	152.9	181.5	412.5	445.1	232.6	201.3	98.0	86.6	65.4	2,164.8
平均値	69.7	87.5	129.5	168.1	194.3	371.2	495.1	296.5	224.5	108.8	77.4	57.3	2,228.2
昭和53年	68.0	76.9	78.9	115.1	68.2	323.2	102.0	152.3	150.1	84.0	55.6	57.4	1,331.7
(平年比)	102.8%	87.5%	58.6%	75.3%	37.6%	78.4%	22.9%	65.5%	74.6%	85.7%	64.2%	87.7%	61.5%
平成6年	56.6	75.4	68.5	188.7	72.8	220.3	58.3	82.1	86.2	26.3	34.3	85.5	1,055.0
(平年比)	85.6%	85.8%	50.8%	123.4%	40.1%	53.4%	13.1%	35.3%	42.8%	26.8%	39.6%	130.6%	48.7%
平成7年	51.5	28.7	79.3	273.9	228.6	227.4	594.8	150.5	238.9	52.1	38.3	5.7	1,969.7
(平年比)	77.9%	32.6%	58.9%	179.2%	126.0%	55.1%	133.6%	64.7%	118.7%	53.1%	44.2%	8.7%	91.0%
平成14年	77.6	68.7	133.6	150.7	319.0	182.8	254.4	128.0	89.6	81.9	69.5	104.8	1,660.6
(平年比)	117.3%	78.1%	99.2%	98.6%	175.8%	44.3%	57.2%	55.0%	44.5%	83.5%	80.2%	160.1%	76.7%
令和15年	52.4	70.0	121.0	225.0	152.0	269.0	541.0	380.0	25.0	18.0	122.0	40.0	2,015.5
(平年比)	79.2%	79.6%	89.8%	147.2%	83.8%	65.2%	121.5%	163.4%	12.4%	18.4%	140.8%	61.1%	93.1%
令和5年	78.4	77.0	123.7	187.1	310.3	436.4	735.3	182.3	53.3	30.6	43.8	46.3	2,304.5
(平年比)	118.5%	87.6%	91.8%	122.4%	171.0%	105.8%	165.2%	78.4%	26.5%	31.2%	50.6%	70.7%	106.5%
令和6年	46.1	156.6	213.4	212.0	223.2	376.7	362.3	304.5	151.6	129.2	168.4	14.6	2,358.6
(平年比)	67.8%	203.6%	270.5%	184.2%	327.3%	116.6%	355.2%	199.9%	101.0%	153.8%	302.9%	25.4%	177.1%
令和7年	18.1	48.6	154.0	75.2	266.6	412.0	66.7	409.6	123.5	59.3	8.5		1,642.1
(平年比)	27.4%	55.3%	114.3%	49.2%	146.9%	99.9%	15.0%	176.1%	61.3%	60.5%	9.8%		75.9%

※平年値は、1991～2020年(30年間)の平均値

平均値は2015～2024（直近10年）の平均値

※九州地方整備局調べ

筑後川(瀬ノ下上流域)平均累加雨量図



単位:ミリ

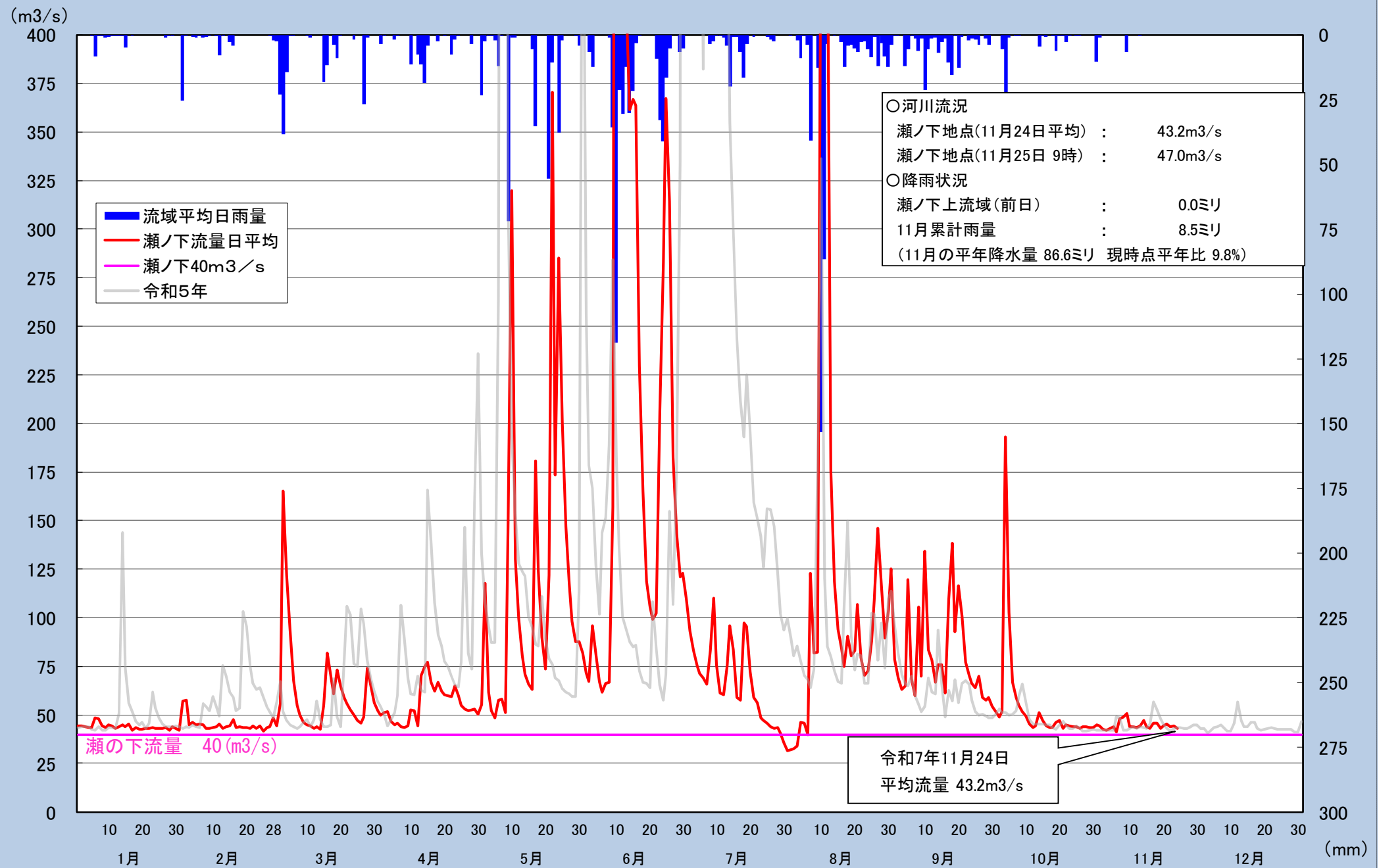
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平年値	66.2	154.1	288.8	441.7	623.1	1,035.6	1,480.7	1,713.3	1,914.7	2,012.7	2,099.3	2,164.8	2,164.8
平均値	69.7	157.2	286.7	454.8	649.1	1,020.3	1,515.4	1,811.9	2,036.4	2,145.2	2,222.6	2,279.9	2,279.9
昭和53年	68.0	144.9	223.8	338.9	407.1	730.3	832.3	984.6	1,134.7	1,218.7	1,274.3	1,331.7	1,331.7
(平年比)	102.8%	94.1%	77.5%	76.7%	65.3%	70.5%	56.2%	57.5%	59.3%	60.6%	60.7%	61.5%	61.5%
平成6年	56.6	132.0	200.5	389.2	462.0	682.3	740.6	822.7	908.9	935.2	969.5	1,055.0	1,055.0
(平年比)	85.6%	85.7%	69.4%	88.1%	74.1%	65.9%	50.0%	48.0%	47.5%	46.5%	46.2%	48.7%	48.7%
平成7年	51.5	80.2	159.5	433.4	662.0	889.4	1,484.2	1,634.7	1,873.6	1,925.7	1,964.0	1,969.7	1,969.7
(平年比)	77.9%	52.1%	55.2%	98.1%	106.2%	85.9%	100.2%	95.4%	97.9%	95.7%	93.6%	91.0%	91.0%
平成14年	77.6	146.3	279.9	430.6	749.6	932.4	1,186.8	1,314.8	1,404.4	1,486.3	1,555.8	1,660.6	1,660.6
(平年比)	117.3%	95.0%	96.9%	97.5%	120.3%	90.0%	80.1%	76.7%	73.3%	73.8%	74.1%	76.7%	76.7%
平成15年	52.4	122.4	243.4	468.4	620.4	889.4	1,430.4	1,810.4	1,835.4	1,853.4	1,975.4	2,015.4	2,015.4
(平年比)	79.2%	79.4%	84.3%	106.1%	99.6%	85.9%	96.6%	105.7%	95.9%	92.1%	94.1%	93.1%	93.1%
令和5年	78.4	155.4	279.1	466.2	776.5	1,212.9	1,948.2	2,130.5	2,183.8	2,214.4	2,258.2	2,304.5	2,304.5
(平年比)	118.5%	100.9%	96.6%	105.6%	124.6%	117.1%	131.6%	124.3%	114.1%	110.0%	107.6%	106.5%	106.5%
令和6年	46.1	202.7	416.1	628.1	851.3	1,228.0	1,590.3	1,894.8	2,046.4	2,175.6	2,344.0	2,358.6	2,358.6
(平年比)	69.7%	131.6%	144.1%	142.2%	136.6%	118.6%	107.4%	110.6%	106.9%	108.1%	111.7%	109.0%	109.0%
令和7年	18.1	66.7	220.7	295.9	562.5	974.5	1,041.2	1,450.8	1,574.3	1,633.6	1,642.1		1,642.1
(平年比)	27.4%	43.3%	76.4%	67.0%	90.3%	94.1%	70.3%	84.7%	82.2%	81.2%	78.2%		75.9%

※平年値は、1991～2020年(30年間)の平均値

平均値は2015～2024(直近10年)の平均値

※九州地方整備局調べ

瀬ノ下日平均流量・瀬ノ下上流域平均雨量（速報値）



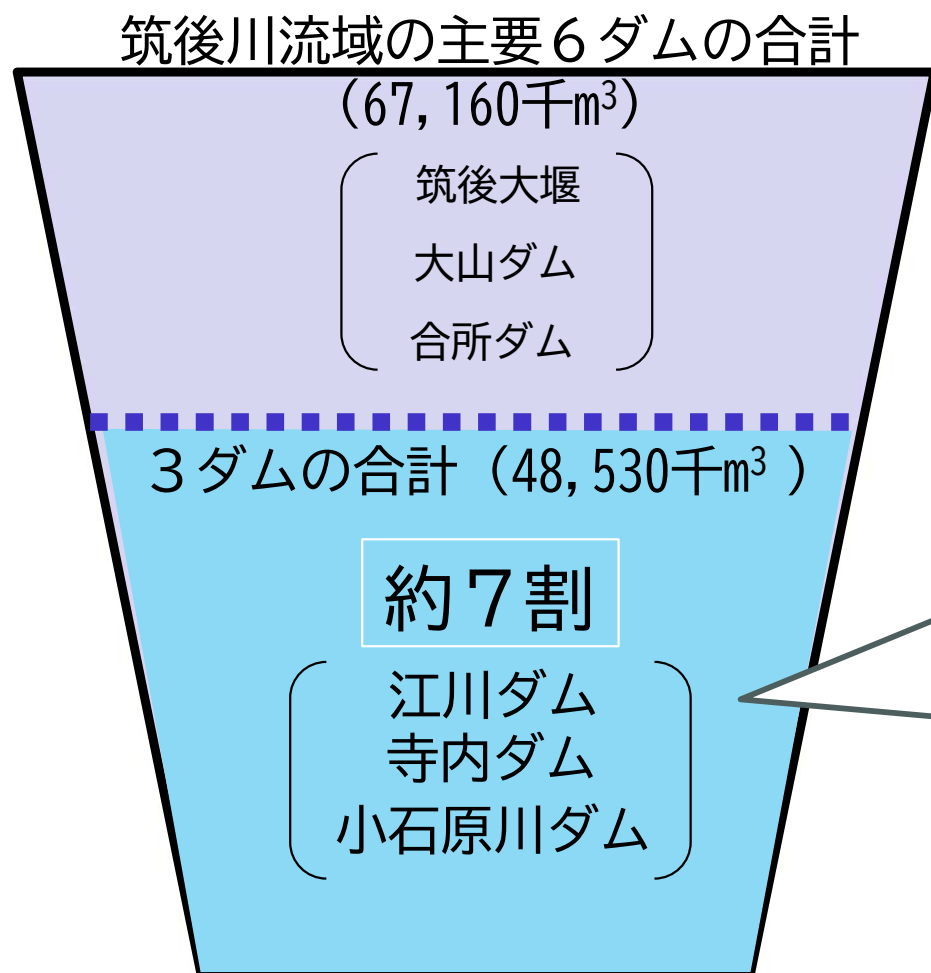
筑後川の水利用の状況

- 筑後川の水は農業用水のほか、工業用水、水道用水、発電用水に広域的かつ多目的に利用されている。



筑後川の水利利用の状況

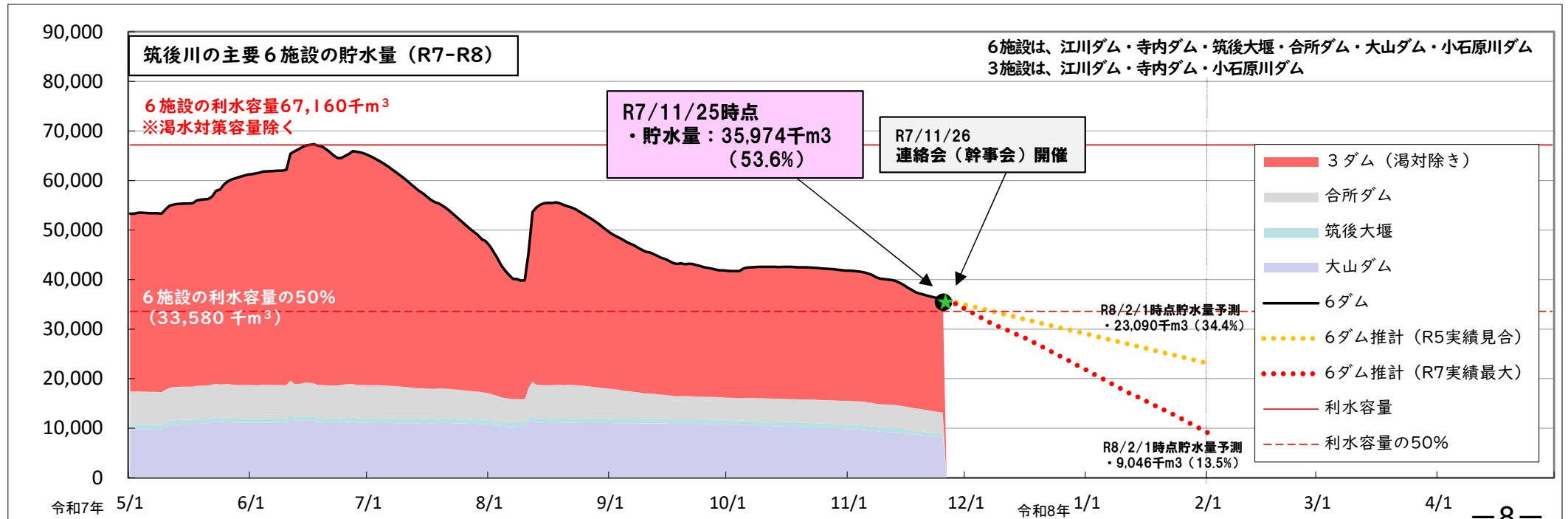
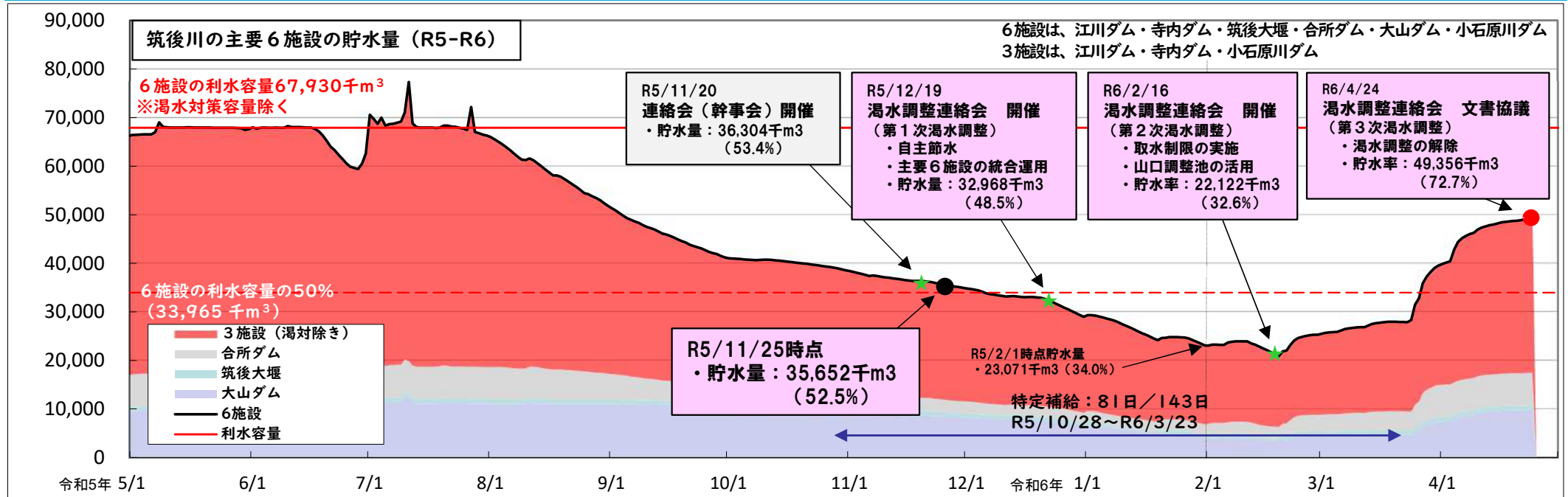
- 筑後川水系の主要6ダムの利水容量（農業用水・都市用水・不特定用水）は、67,160千 m^3 。このうち、約7割（48,530千 m^3 ）を江川ダム・寺内ダム・小石原川ダムが占め、広域的な水瓶の役割を担っている。



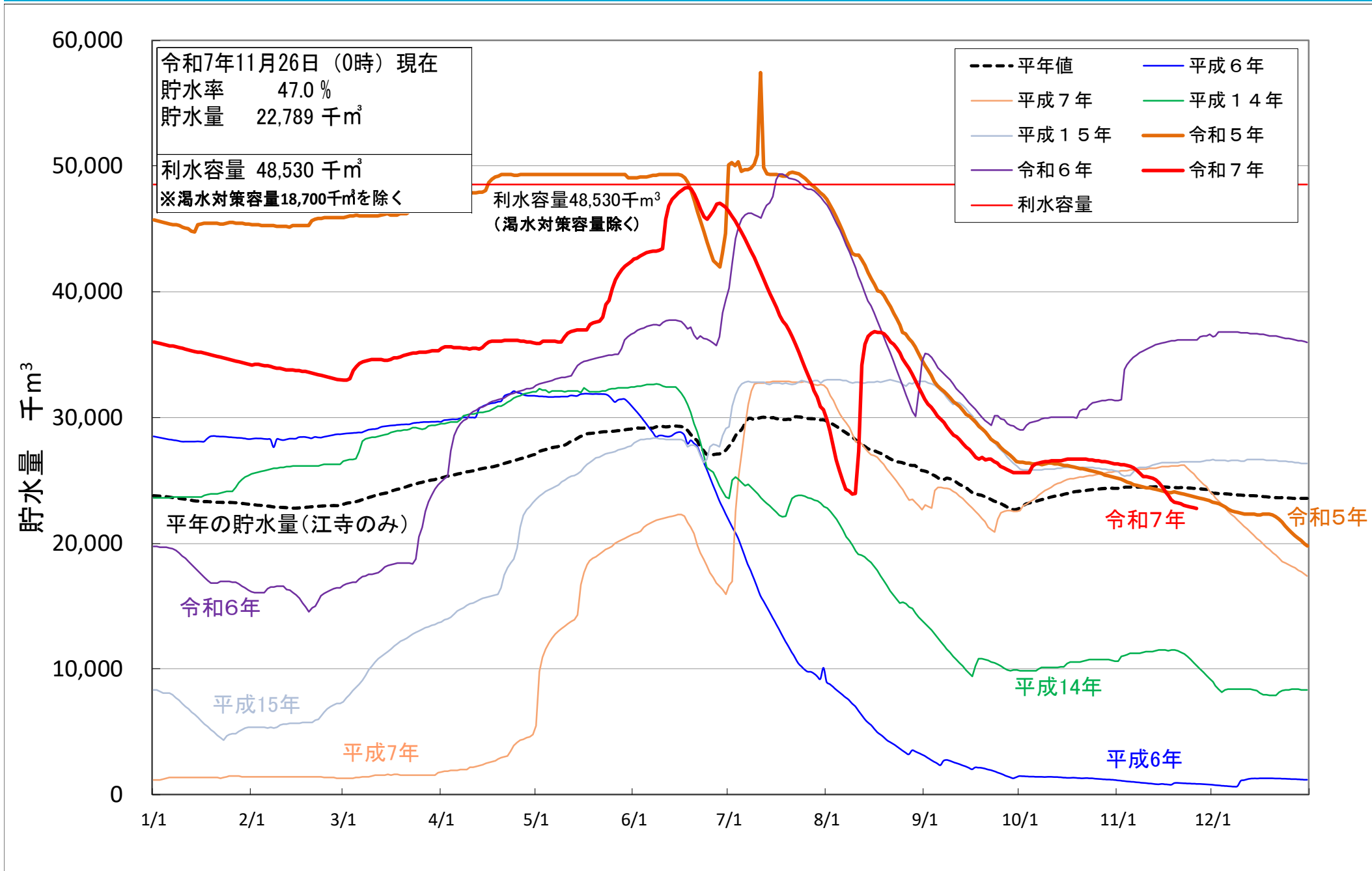
- 福岡市、朝倉市
- 福岡地区水道企業団
- 福岡県南広域水道企業団
- 佐賀東部水道企業団
- 鳥栖市
- うきは市
- 両筑平野用水

※ 渇水対策容量を除く

6ダム（江川・寺内・小石原川・大堰・合所・大山）貯水量変化図

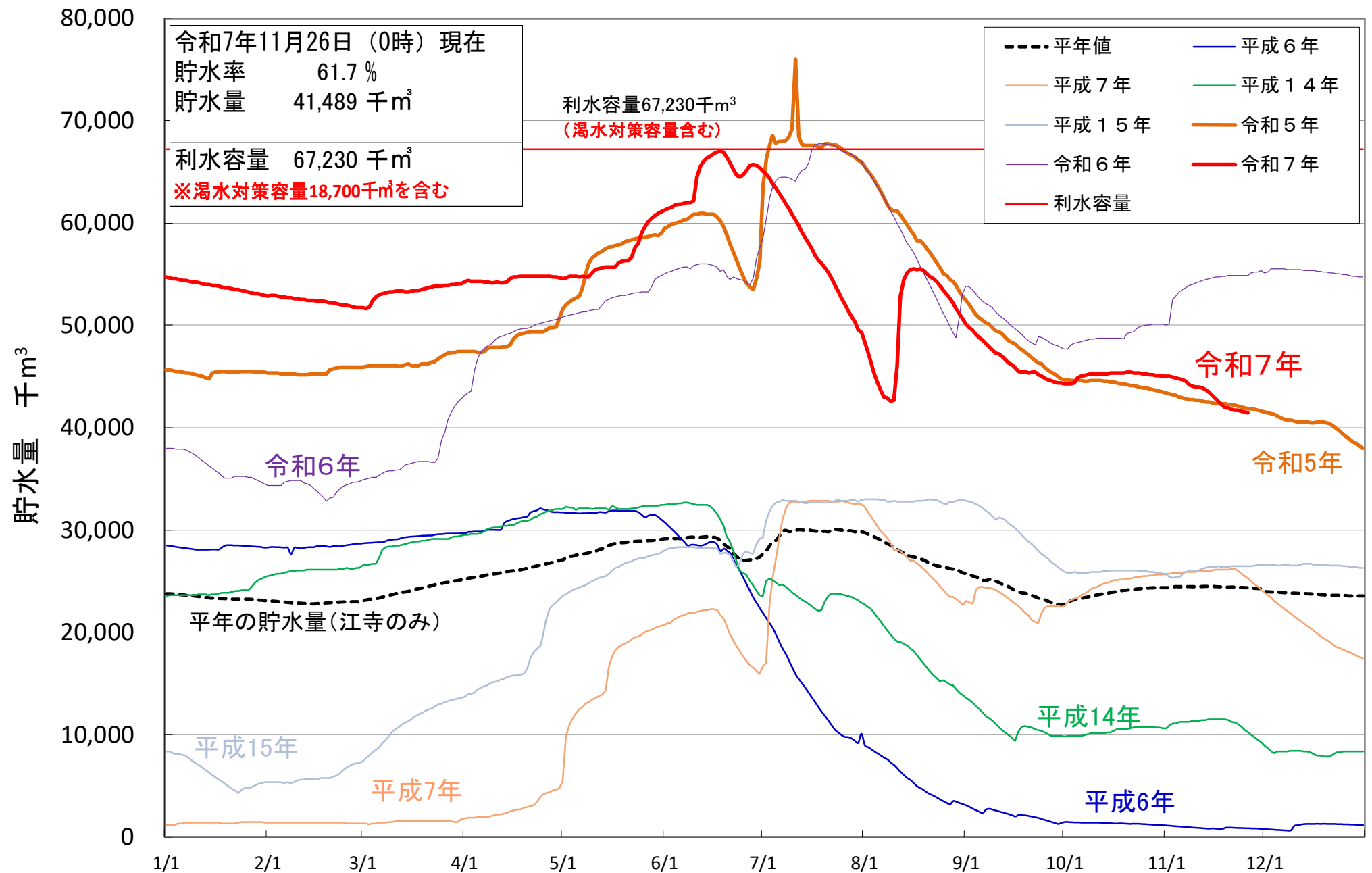


3 ダム（江川・寺内・小石原川）ダム貯水量経年変化図



※令和3年10月の小石原川ダム本格運用開始以降は小石原川ダムを含めたデータとしている

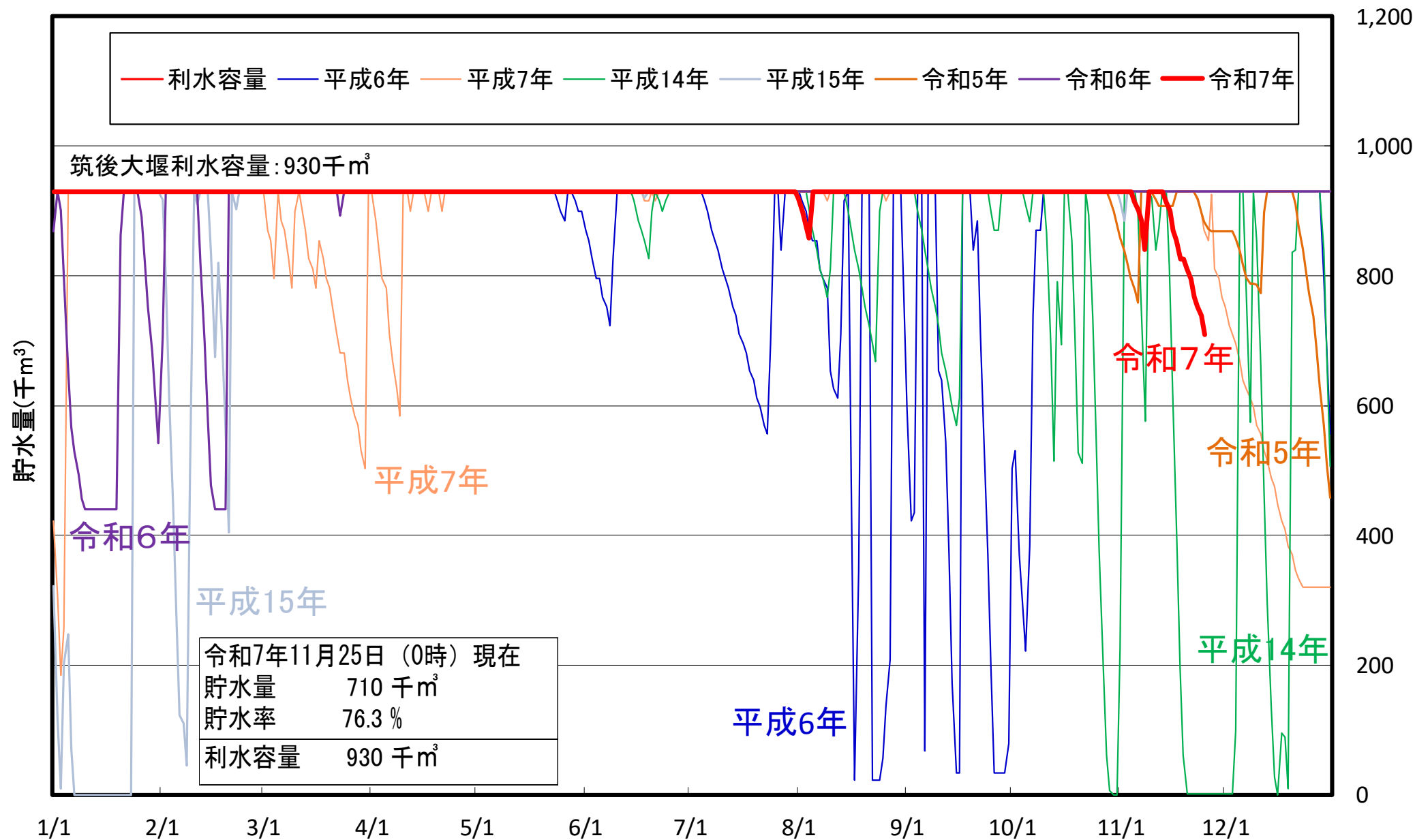
3ダム（江川・寺内・小石原川）ダム貯水量経年変化図



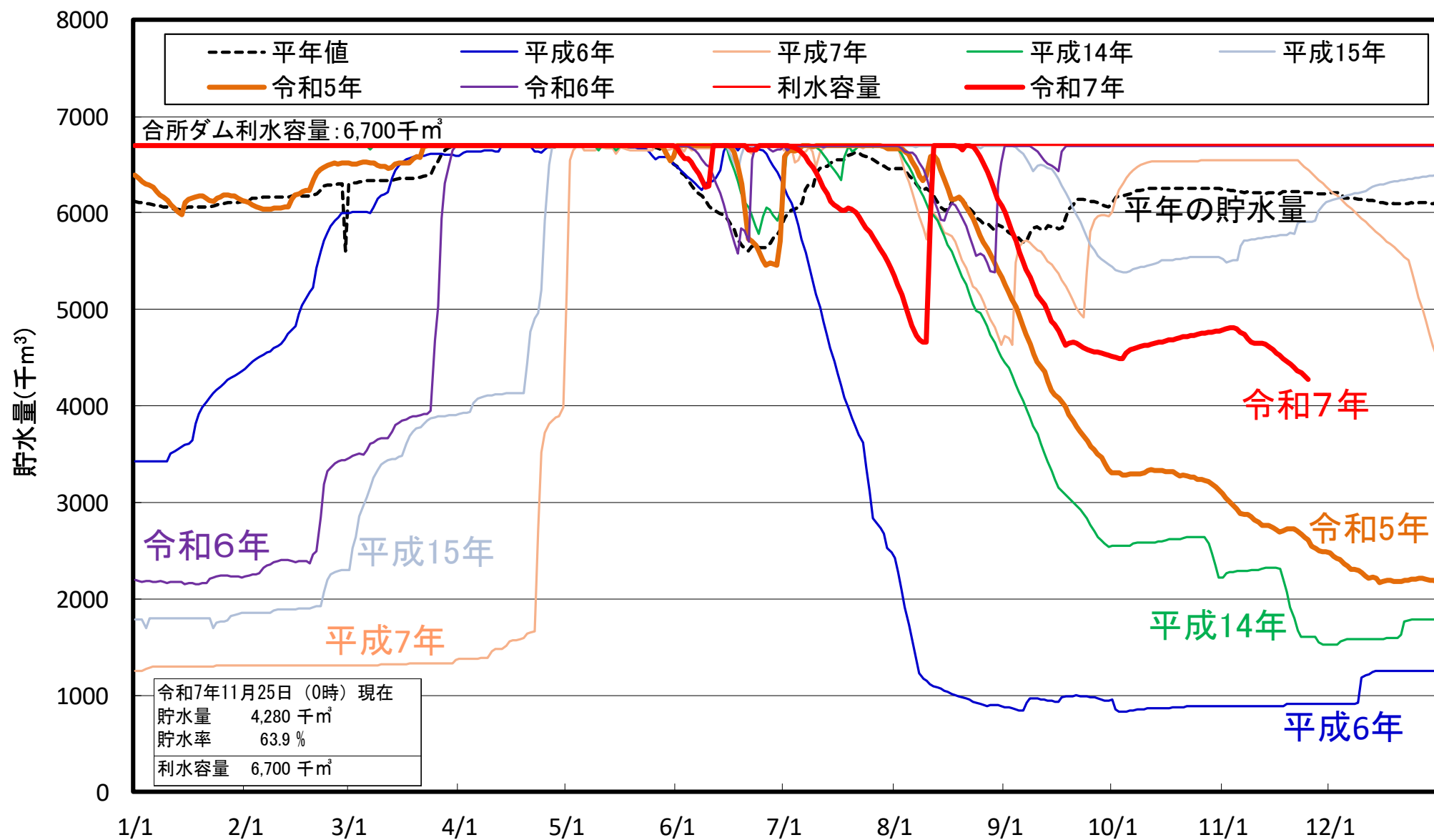
※平年値は、1991～2020年(30年間)の平均値（江川・寺内ダムのみ）

※令和3年10月の小石原川ダム本格運用開始以降は小石原川ダムを含めたデータとしている

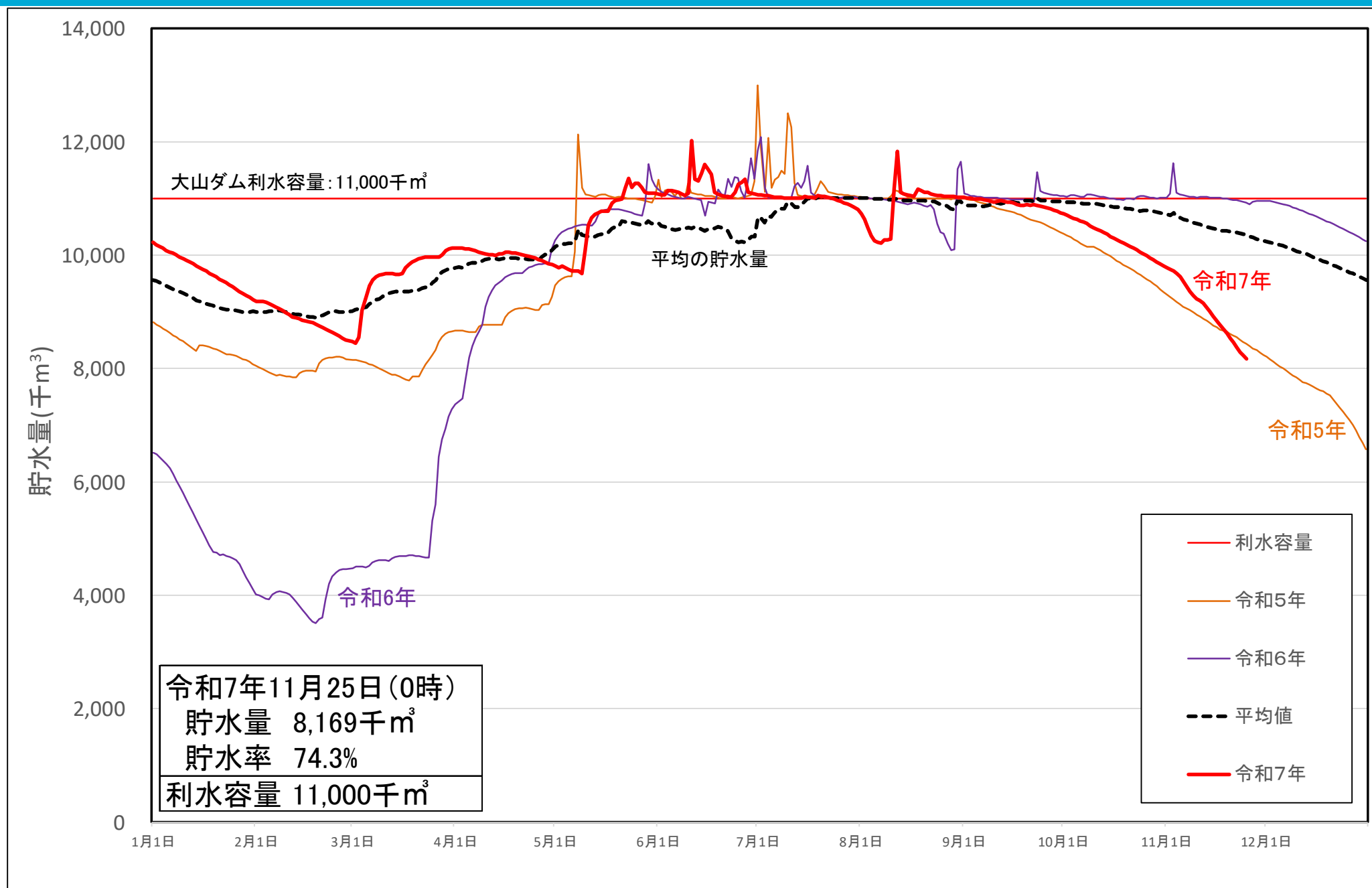
筑後大堰貯水量



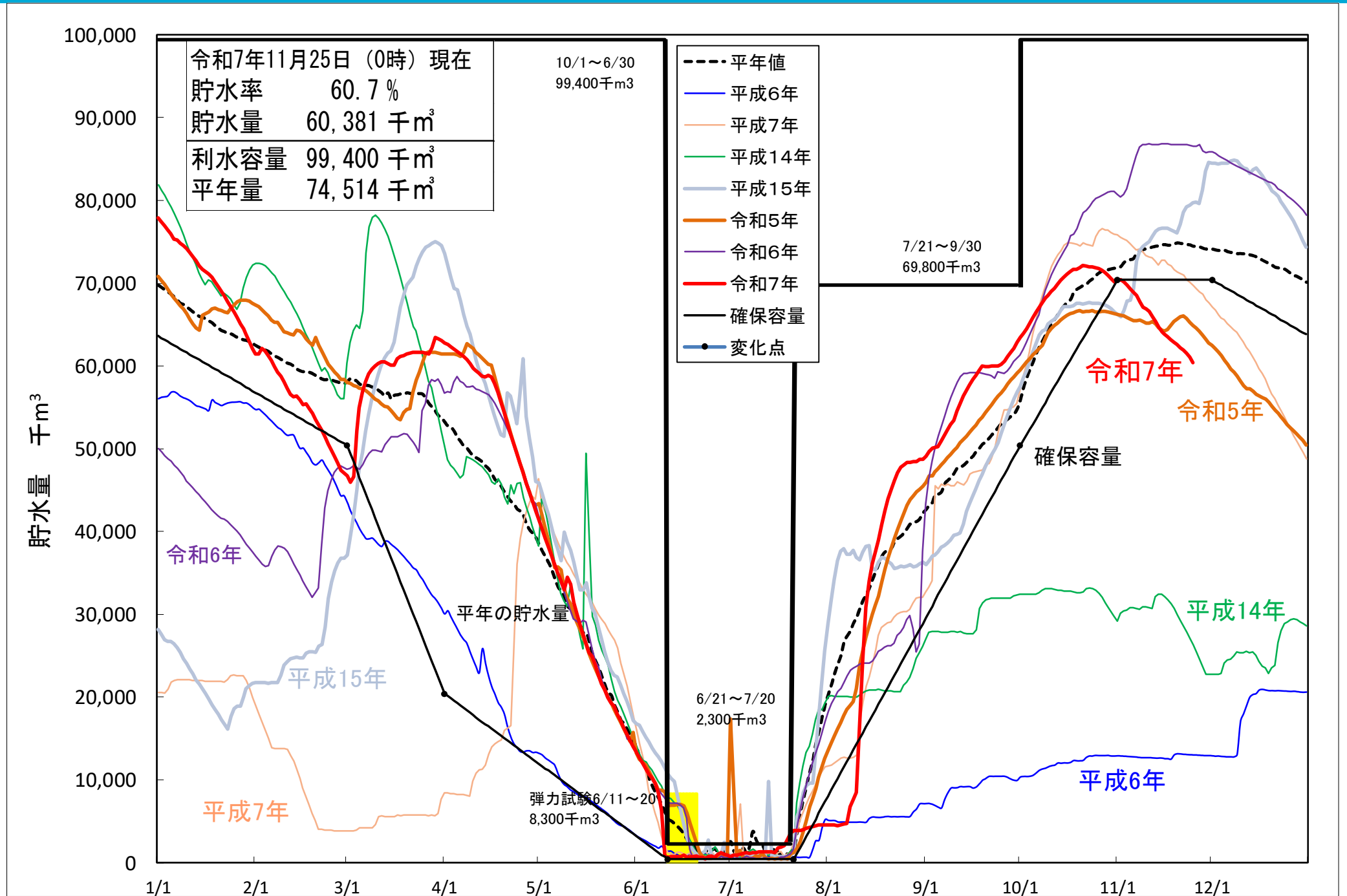
合所ダム貯水量



大山ダム貯水量



松原・下笠ダム貯水量経年変化図



※平年値は、1991～2020年（30年間）の平均値

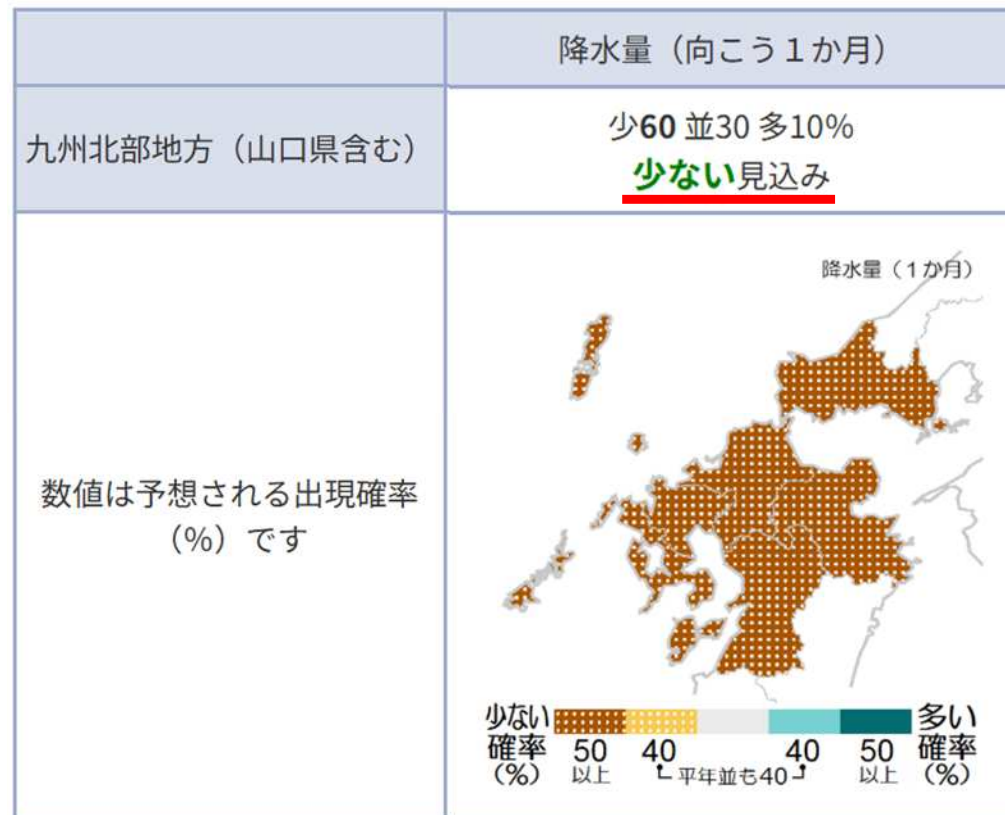
今後の天候の見通し（1か月・3か月予報福岡管区気象台予報より）

■向こう1か月の天候の見通し

九州北部地方（山口県含む）（11/22～12/21）

予報のポイント

- 移動性高気圧に覆われやすいため、向こう1か月の降水量は少なく、日照時間は多いでしょう。

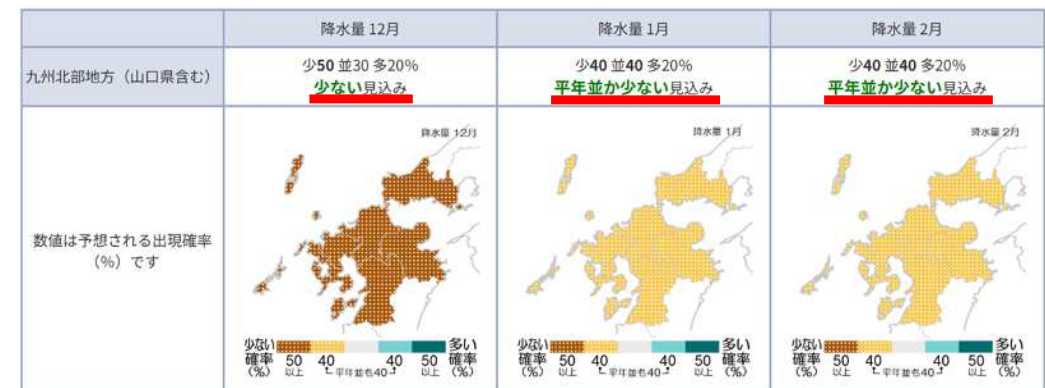
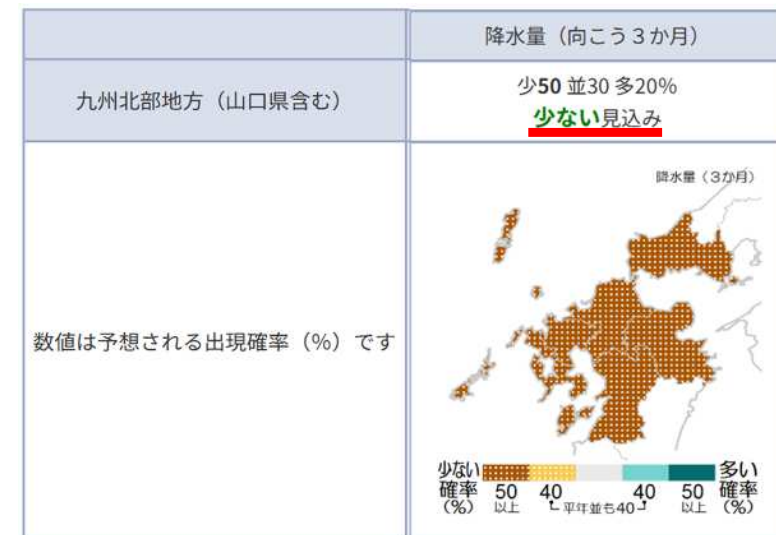


■向こう3か月の天候の見通し

九州北部地方（山口県含む）（12月～2月）

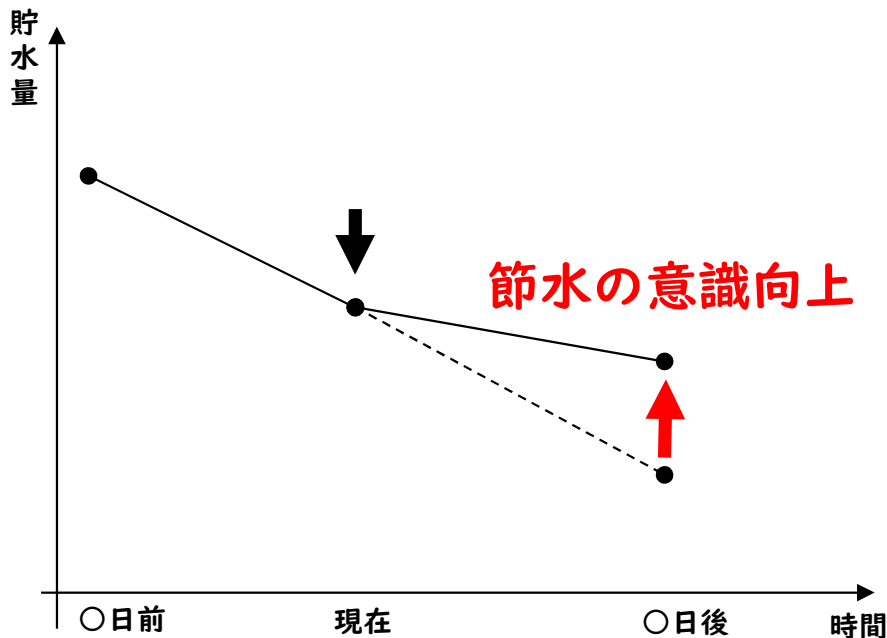
予報のポイント

- 向こう3か月の降水量は、低気圧の影響を受けにくいため少ないでしょう。



筑後川の水資源の状況

- 市民生活や社会経済活動に支障をきたす『給水制限（時間断水）』をできる限り回避するには、早めの対応が肝心。
- 行政機関・水道事業者等のもとより、地域の一人一人の節水等の取り組みが、これからの事態の延命・緩和に効果を生む。
- 筑後川流域・関係地域で生活・活動されている皆と一緒に、限りある水資源をコントロールし、危機的な渇水を未然に回避する。



例えば・・・

※1リットル = 一般的な水道蛇口で5秒間程度。

※水利用者約350万人(想定)

一人一人が5秒間だけ水道利用を控えると、
 $350万人 \times 1リットル = 350万リットル \div 1000 = 3.5千m^3$
の節水になる。

平常時

・気象の長期予報の内容
・ダム貯水率等の現状

渇水段階		あらかじめの対応(平常時)
給水制限		—
町・国・村・都道府県・市	調整・対応等	◆水資源開発施設の整備が必要な地域での水資源開発の取組 ◆雨水・再生水の利用促進 ◆水融通・応援給水体制の検討 ◆地下水保全・利用ルール of 検討 ◆応援給水等の供給先の優先順位の設定の検討
ダム・水等の施設事業者等	水供給を提議する方側策	◆施設の改良による利水機能の増強(ダムの嵩上げ等の再開、貯水池掘削・浚渫による容量維持等) ◆複数ダムの統合運用など異常渇水時のダムの運用ルール設定 ◆緊急給水施設等の整備 ◆水融通・水輸送の事前準備 ◆節水、雨水・再生水の利用
産業・住民等	水を使用する方側策	

渇水対応

渇水対応の準備時	渇水時	深刻な渇水時	危機的な渇水時
	減圧給水	時間断水	長期断水
◆渇水対策本部等の体制の整備 ◆節水・渇水に関する広報 ◆広報・メディアとの連携	◆公共施設の節水(プール、公園の散水、噴水の中止等) ◆情報の提供・共有	◆用途転用(許可水量の範囲内で転用) ◆水融通・水輸送や優先給水の調整 ◆自衛隊出動要請	◆緊急病院等への緊急水の指定 ◆転院の支援 ◆衛生施設(トイレ)の確保
◆海水淡水化施設、給水タンク、輸送のためのトラック、水備蓄(ペットボトル等)等の事前準備 ◆渇水対策本部等の体制の整備	◆節水の呼び掛け ◆給水制限(減圧)	◆水融通の調整 ◆給水制限(時間断水) ◆複数ダムの統合運用	◆広域的な水融通 ◆病院、福祉施設への優先給水 ◆緊急給水(ペットボトル等)
◆一般家庭の節水(風呂、洗濯、洗車等の節水)	◆農業用水の番水、反復利用	◆生活様式の変更 ◆工場の操業短縮	◆最低限の水利用

注)本イメージ図はシナリオの一例であり、想定される影響・被害、渇水対策は、各流域の特性等により異なる。